

令和3年度

第2回池田市地域公共交通会議

会 議 録

日 時	令和3年11月30日（火） 11時00分～12時00分
会 場	池田市中心公民館2階会議室A・B

## 令和3年度 第2回池田市地域公共交通会議議題

### 議題

#### (1) 報告事項

監事の選任について

#### (2) 協議事項

池田市地域公共交通計画骨子（案）について

以上

委員数 18名

うち出席委員 17名 代理出席1名・随行者1名を含む

※ 池田市地域公共交通会議設置条例第6条により、本会議は成立

会長	新田保次	委員
	東口武生	委員
	河原正明	委員
	中西克之	委員
	渡部恭三	委員
随行者	牧野正尚	委員
	寺岡幸彦	委員
	奥野雅弘	委員
	野津俊明	委員
代理	黒田唯雄	委員
	足立 壽	委員
	堀内隆彦	委員
	松山洋三	委員
	板谷 実	委員
	藤井貴悦	委員
	綿谷憲司	委員
	西村俊二	委員

事 務 局

都市整備部	次長	夏 木 敏 宏
都市整備部交通道路	課長	村 島 清 太
都市整備部交通道路課	副主幹	田 村 哲 也
都市整備部交通道路課	主事	徳 永 明香理

オリエンタルコンサルタンツ技術主査	八 木 彰 一
オリエンタルコンサルタンツ技師	神 吉 晃 大

傍 聴 者            0 名

## 令和3年度 第2回 地域公共交通会議 議事録

開催日時：令和3年11月30日（火） 11：00～12：00  
 開催場所：池田市池田中央公民館 2階会議室（A・B）  
 出席者：

備考	所 属	氏 名	出欠
会長	大阪大学	新田 保次	出席
副会長	大阪大学 人間科学研究科 付属未来共創センター	石塚 裕子	欠席
委員	国土交通省 大阪国道事務所 地域調整課	東口 武生	出席
	近畿運輸局 大阪運輸支局	河原 正明	出席
	近畿運輸局 大阪運輸支局	中西 克之	出席
	大阪府 池田土木事務所	渡部 恭三	出席
		牧野 正尚	随行
	池田警察署 交通課	寺岡 幸彦	出席
	阪急電鉄株式会社 交通プロジェクト推進部	奥野 雅弘	出席
	阪急バス株式会社 自動車事業部	野津 俊明	Web
	一般社団法人 大阪タクシー協会	黒田 唯雄	代理
	阪急タクシー株式会社	足立 壽	Web
	阪急タクシー労働組合	堀内 隆彦	出席
	池田市友愛クラブ連合会	松山 洋三	出席
	池田市社会福祉協議会	板谷 実	出席
	池田市身体障害者福祉会	藤井 貴悦	出席
	池田市総合政策部	水越 英樹	欠席
	池田市福祉部	綿谷 憲司	出席
池田市都市整備部	西村 俊二	出席	
事務局等	都市整備部 次長 都市整備部交通道路 課長 都市整備部交通道路課 副主幹 都市整備部交通道路課 主事 オリエンタルコンサルタンツ技術主査 オリエンタルコンサルタンツ技師	夏木 敏宏 村島 清太 田村 哲也 徳永 明香理 八木 彰一 神吉 晃大	出席

**討論内容**

<b>1. 監事の選任について</b>	
事務局 :	事務局提案となるが、本会議の監事として阪急電鉄株式会社 交通プロジェクト推進部部長 奥野委員を選任したのでご報告する。
新田会長 :	監事の選任について何かご意見あればお願いしたい。
委員 :	意見なし
新田会長 :	それでは事務局の提案通り、奥野委員を本会議の監事とする。
<b>2. 池田市地域公共交通計画骨子（案）について</b>	
委員 :	評価指標について、阪急電鉄の運行便数はあまり増減がないので、指標とするのはあまり効果がないと考える。また、各指標が増減したらどうなるのか、どうしたらその指標が増減するのかを考えた上で指標を設定していくべきではないか。地域商店街の売上は、公共交通とあまり関係がない指標だと感じるため、関係性を踏まえた設定が良いと考える。
事務局 :	現時点の評価指標は、案であるため、ご指摘の観点も踏まえて今後整理を行う。
新田会長 :	モニタリング指標については、増減での評価は難しいため、地域公共交通会議で評価するのではなく、各交通事業者が推移を見て確認するものであると考える。地域公共交通計画の進捗状況は、毎年チェックが入るものであるため、各委員の合意のもと、慎重に進めていく必要がある。
委員 :	計画策定の考え方について、極力行政的な縦割りの排除を意識して取り組んでいただきたい。関連部局との情報共有や意見の吸い上げはしっかりやっていただきたい。また、市民目線で考えていくことが基本であると思う。交通機関を利用するのは市民であるため、アンケート調査結果より、どのように考えて利用しているのかの分析をしっかりと行った上で検討を進めて欲しい。
事務局 :	行政の仕組みについては、単に交通だけというわけではなく、福祉や自動運転、MaaS、高齢者の免許返納等の幅広い分野に関連するものだと認識している。また、その分ハードルが高いことも十分認識しているため、ご指摘を踏まえて取り組んでいきたい。 市民目線での検討については、計画としては長期的に評価する指標となるが、市民目線を考慮すると即時的な対応も求められる部分だと考えている。そのため、タイミングに応じた課題解決策を提示できるよう、今後取り組んでいきたい。
委員 :	目指すすがたについて、資料から将来的に自転車や徒歩を縮小させると読み取れるが、その方向で進めていくのか。
事務局 :	趣旨としては、現状において交通手段がないため仕方なく歩いている方や、子ども連れなど不安を感じながら自転車を使っている方などもいると想定され、そのような方々はバスの方がより安全で快適に移動できると思うので、利用転換を促していくことを目指している。

新田会長：	いきなり徒歩や自転車を減らすというような誤解を生じさせる可能性があるの で、見せ方については注意して検討いただきたい。
委員：	地域公共交通計画は、一般的に計画期間5年で目の前の課題に対応していくも のだが、本計画では期間が15年となっている。大阪万博では自動運転、パリ万 博では空飛ぶ自動車が会場での運行を目指している等、技術開発が進んでいく 中、新技術について何らかの形で計画に織り込むことが必要だと考える。具体的 に記載することは難しいと思うが、20年後、30年後にどういった交通体系が望 ましいか、それに向けてどういった取り組みをしていくのかのイメージを示すよ うな資料にしていいただければ、道路管理者としても協力できそうなことがイメ ージできる。市内にはダイハツの本社があるため、技術提携やフィールド提供を通 じて池田仕様のものを作ってもらえれば、夢のある計画になるのではないかと考 える。
事務局：	今回の計画ではある程度抜本的な交通体系の見直しも含めて考えていきたいこ とから、5年の短期的な対応ではなく、計画期間15年と設定した。 新技術の観点については、考慮した上で夢のある計画という形は見せ方を工夫 したい。ダイハツとの連携については、各所から求める声もあるため、今後検討 していきたい。
新田会長：	15年という期間について、人口動向は見通せると思うが、見通しが難しい評価 指標もあると考える。他の計画との整合性なども踏まえて、15年の妥当性につ いては一度整理いただきたい。
委員：	市民アンケート結果を見ると、諦めている移動の割合と公共交通の運行維持に 対する認識では矛盾がある。これに対し、利用促進の観点を意識してもらい、施 策等で盛り込んでもらえれば市民の意識も変わっていくと考える。
事務局：	利用促進の観点は重要だと考えている。阪急バスではバスの乗り方に関する知 らシ「ノリセツ」を配布するなど周知を図っていると聞いている。市でも新たな 転入者に配布し周知に努めているところ。計画の施策にも利用促進に関する施策 は、書き込みたいと考えている。
委員：	伏尾台地域の取り組みについて、過去の会議で取り組み状況や利用状況の報告 があったと思う。今後15年を見据えて地域内の検討を進める中で、取り組みが 地域にどれだけ根ざしているのか、どの程度利用されているのか、地域の活性化 にどの程度寄与しているのかを示してもらいたい。また、今後 も無償運行で持続可能なのかといった議論もあると思う。
新田会長：	今後施策を整理していく中で、15年のうちに実現可能性があるものや実現でき るか分からないものがあると思う。地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 では、輸送の総動員も謳われているため、自家用有償旅客運送も含めて今後検討 していくことが重要であると考えている。

### 3. 閉会

事務局 :

それでは閉会にあたり、池田市都市整備部長の西村より一言ご挨拶申し上げます。委員の皆様におかれましては、お忙しいところ会議にご出席いただきありがとうございました。また、新田会長におかれましては、議事の円滑な進行、誠にありがとうございました。

本市の公共交通は、市全体としては恵まれた環境にあると認識しているが、エリアによっては、北部の伏尾台のように坂道が多く高齢化により、バス停までの移動が困難な市民が住んでいる地域があったり、南部地域においても同様の状況で、出かけることを控えているという声も聞いている。このような課題は、以前からある課題であった。他の自治体がコミュニティバス等の様々な施策に取り組んでいる中、本市においても移動ニーズが高まってきていることを感じている。

また現在の瀧澤市長は、大阪万博に向けて新たな移動手段を導入することを公約に掲げていることもあり、市としても本腰を入れて取り組むべき課題であると思っている。

本日の協議会で改めて本市の交通課題を確認し、交通のあり方について議論いただき一定の方向性示されたものと考えている。次回以降も各立場での貴重な意見等を頂きたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

令和3年12月14日

池田市地域公共交通会議会長 新田 保次